



～学校支援地域本部は地域に作られた学校の応援団です～

2024年1月23日

令和6年は悲しい幕開けになってしまいました。元日に起きた能登半島地震、翌2日の羽田空港でのJAL機と海上保安庁機の衝突事故でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。そして、能登の皆様にも一日も早い安寧の日が訪れますようにお祈り申し上げます。阪神・淡路大震災から29年となる17日には神戸で「ともに」の文字の灯籠が並べられたそうです。東日本大震災からは、まもなく13年になります。犠牲になられた方々の為にも、私たちができることは、震災を忘れず、この教訓を未来につなげること。震災の悲しみを伝えるとともに、日々を生きることの大切さ、日常が決してあたりまえでないこと、毎日を大切に生きていこう！と、震災を知らない子どもたちに伝えていければいいですね。これからの1年、高森の子どもたちが、日本中の子どもたちが、世界中の子どもたちが笑顔で過ごせますように！！

## 高森東小 すこぼら隊大活躍

1/16 先生方がで除雪をしていると、「おはようございます。除雪のために早く来ました！」と、校門から走って登場した5年生の男子。まさに勇者が現れた瞬間でした。その後は次々と「すこボラ隊」(すこしボランティアの略称)が現れ、あっという間に昇降口前の広場の雪がなくなりました。



1/19 12月に行われた「むかしあそびの会」でお世話になった皆様へ、お礼の手紙が渡されました。1年生が一生懸命書いたお手紙は何よりの宝物ですね。



高森中学校区学校支援地域本部発行の広報誌「ALL TAKAMORI is for CHILDREN」は毎月20日に発行し、高森小・高森東小の全ご家庭と地域回覧で皆様にお届けしています。高森小・高森東小・高森中ホームページ「お便りコーナー」からもご覧いただけます。

高森中学校区学校支援地域本部スーパーバイザー 横山倫子

☎ 080-5228-2729



## 1/16 高森小 第5回学校運営協議（コミュニティスクール）

今年度の教育活動について、アンケート結果に基づき教頭先生より報告いただいた後に、今年度の活動と次年度に向けて、委員が3グループに分かれて『しゃべっ亭』を行いました。地域の方々からのアンケートの中にも「子どもたちが地域の方々と話をする中で、発言する力や協調する力が育っている。ぜひ継続してほしい。」「児童の1人1人の個性を知り、今どきの子ども達の様子がわかって良かった」と、5年生・6年生との『しゃべっ亭』が評価されていました。「次年度は、距離が縮まる『しゃべっ亭』に保護者の皆様にも参加していただく機会を作れないかな。」「夏祭りや地域防災訓練には子どもたちの意見も取り入れて、地域がもっと活性化できればいいね。」等の意見が聞かれました。高森小CS発足より3年間委員を努めて下さった方が6名退任され、来月行われる令和6年度第1回目からは、新たに3名の方が加わり、4年目がスタートします。更に学校と地域が、子どもたちの為に協力し合える体制が強固になることを願います。



高森連合町内会 太田國夫会長より、巡視員防犯ボランティアの吉村敦さんに感謝状が送られました。吉村さんは11年間、毎朝、交差点で子どもたちの安全を見守り、声を掛けて下さっています。「子どもたちから元気な挨拶をしてもらえるのが元気の源！」とおっしゃる吉村さん、これからもよろしくお願いたします。

